

議 会

定例会

平成28年第3回定例会は9月14日に招集され、提出された案件を審議し16日に閉会いたしました。

委員会報告

総務産業常任委員会

■ 調査期日 6月13日

■ 調査事項

① 社会福祉協議会の運営について

② 農業施策について

■ 調査結果

①② 指摘事項なし

■ 調査期日 7月15日

■ 調査事項

① 産業廃棄物の北竜町における環境対策について（「空知興産雨竜産業廃棄物処理施設」視察）

② グループホーム碧水の状況について（「グループホーム

碧水」視察）

■ 調査結果

①② 指摘事項なし

■ 調査期日 8月4日

■ 調査事項

① ひまわりの里と観光振興について

■ 調査結果

① 歩行者並びに自転車利用者の危険性から、遊覧車の専用道路の整備を考慮すべき

推薦

○ 人権擁護委員の候補者の推薦について

澤田 正人氏（新）

同意

○ 教育長の任命について

・ 9月30日任期満了のため任命に同意
本多 一志氏（再）

原案可決

○ 「認知症になりにくいまちづくり」宣言について

○ 北竜町介護福祉士修学資金貸付条例の全部改正について

○ 北竜町農業委員会委員定数等条例の全部改正について

○ 北竜町税条例の一部改正について

○ なごみ団地公営住宅A棟建設工事請負契約の締結について

○ 平成28年度北竜町一般会計補正予算（第3号）について

・ 既定予算額に243,394千円を追加し、総額を3,575,081千円とする。

○ 平成28年度北竜町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について

・ 既定予算額に966千円を追加し、総額を447,364千円とする。

○ 平成28年度北竜町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について

・ 既定予算額に125千円を追加し、総額を32,375千円とする。

○ 平成28年度北竜町介護保険特別会計補正予算（第3号）について

・ 既定予算額に260千円を追加し、総額を240,992千円とする。

○ 平成28年度北竜町農業集落

排水事業及び個別排水処理事業特別会計補正予算（第2号）について

・ 既定予算額に2,598千円を追加し、総額を129,097千円とする。

○ 平成28年度北竜町簡易水道事業会計補正予算（第2号）について

・ 収益的収入で3,845千円増額し、総額65,032千円とする。

・ 資本的支出で3,845千円増額し、総額74,930千円とする。

認定

○ 平成27年度北竜町一般会計外6会計（国保・診療所・後期高齢・介護・特老・集落排水）の歳入歳出決算認定と平成27年度北竜町簡易水道事業会計決算認定について

・ 決算審査特別委員会（山本剛嗣委員長）を設置して、その審査を付託、休会中に審査を行い認定されました。

意見書提出

次の意見書を可決し、関係省庁に送付いたしました。

○林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

○農業・農村を崩壊させかねない農政改革とTPPの拙速な国会承認の反対を求める意見書

○「米政策改革」の抜本的見直しを求める意見書

一般質問

2名の議員から3件の一般質問がありました。質問内容については、11月号に掲載予定です。



議員コラム

今夏を振り返ると…。

・約3ヶ月にわたるラジオ体操、健康はもちろん1日のスタートにふさわしいリズムが生まれ、心身共に健全な意識を植え付けてくれた。(指導する谷本さんに感謝)

・最も熱く燃えるひまわりのシーズン、今年も素晴らしい花を咲かせてくれた。中学生による世界のひまわりは好評であり、高齢者のガイドや炎天下の中、土日でも駐車場整備等頑張った役場/団体職員皆さんに感謝の意を表したい。また、「お菓子の家」は商工、農協青年部(藤信さんを中心として)宮島学園とのコラボレーションにより立派な作品を完成させ、多くの観光客を楽しませてくれた。今年「ひまわりフラワーフェスタ」は夜でも駐車場が埋まるほど多くの観光客で賑

わい、ビールパーティー、歌謡ショー、花火大会、そしてヨサコイは、北海道医療大学の皆さんが18年前に白竜(制作者辻さんとの縁で)を貸した恩と友情で今日まで毎年百人近くのメンバーが自ら大型バス2台を借り上げ、無報酬

で女性中心とした若いエネルギーが小さな町に活力を与え、祭りを盛り上げています。せめてものお礼にと、町のお父さん/お母さんが朝から晩までその受け入れ、もてなしに励んでいる姿に感謝、感激であつた。今年も「オール北竜」

で祭りを町民みんなで頑張り、入場者も26万6千人と過去最高を記録した。・北中の学校祭の帰り、学校前の庭を見ると見事な管理に感動した。・神社の秋祭りは、年々人が増えているような気がする。

特に青年層が積極的に参加し祭りを盛り上げており、頼もしい限りである。よく人口減少と共に祭り不要論も聞かれるが、どんなに過疎になっても、祭りがその町の勢いと活力を生む原動力ではなからうか。

・収穫の秋を目の前に北海道ほぼ全域が台風等の大雨で大災害を蒙ったが、本町は大きな被害もなく黄金に輝く豊穣の秋を迎えた。このままいけば今年も豊作だ。

(佐光 勉)



佐野町長とのふれあいプロジェクト

10月の町長室開放デーは、4日(火)、24日(月)です。

午前10:00から12:00まで

午後2:00から4:00まで

皆様お気軽に町長室にお越し下さい。